



メイドインUSA

全てのクリスキングプロダクトは環境に配慮し、クオリティーコントロールが徹底されたアメリカの工場にて生産されています。

Chris King Precision Components  
2801 NW Nela Street, Portland, Oregon 97210

### Headset Specifications : ヘッドセット仕様

Headset Specifications									
Type	Bearing Position	S.H.I.S.	Bearing O.D.	Headtube I.D.	Fork Steerer Tube O.D.	Crown Seat O.D.	Bearing Seat Angle	Stack Height	Ream Depth
DropSet™ 1	Upper	IS41/28 45°	41.0mm	41.15mm (+0.05 -0.05)	28.60mm (+0.05 -0.05)	NA	45°	9mm	3.1-3.2mm
	Lower	IS52/40 45°	52.0mm	52.10mm (+0.05 -0.05)	NA	39.79-39.85mm	45°	1mm	7.4-7.5mm

Stem Cap Bolt Torque = 1.92Nm (17 in.lbs)

### その他のサポート情報について

お客様が快適に自転車生活を送ることができるように技術的な情報を随時アップデートさせていただいております。もし気になることがありましたら、こちらのウェブサイトをチェックしてください。 [www.chrisking.com/support](http://www.chrisking.com/support)

### 保証について

クリスキング社は、購入時の日付から10年間、欠陥があった場合は、部品交換、そして修理を無料で行う事をお約束しています。クリスキング社が素材や技術に欠陥があると認めた製品は、工場へ送料が払われた状態で戻ってきた場合、修理もし

くは交換されるようにしています。この保証は、使い方を間違っただけのためダメージ、乱用、改造、放置、通常消耗、事故、メンテナンスの失敗、製品の使われ方が意図しない方向で使用された時は、保証されません。もし欠陥が見つかった場合、私たちの全責任において、無料の修理、又は交換を致します。製品のシリアルナンバーが変更されてたり、取り除かれていた場合は保証は無効となります。

**おめでとうございます！**あなたは世界の最高品質を誇るヘッドセットを購入されました。1976年以来、クリスキングは自転車愛好家に対して、最高そして信頼のおけるヘッドセットを供給し続けています。適切な取り付け方、メンテナンスにより、最高品質と性能を長い間味わう事が可能になります。

## 互換性について

必要とされるヘッドチューブのサイズはドロップセット™仕様表を参照してください。この数値に合わせるために違う形のヘッドチューブを改造しないようにしてください。フレームの互換性を確認するために、フレームの製造元、またはクリスキング正規ディーラーへご相談ください。

## 取り付け

ヘッドセットの取り付けはプロのバイシクルメカニックにやってもらうことを推奨します。

**注意：長期持続、そしてヘッドセットの性能を最大限に引き出すために、クリスキングのドロップセット™に付属するベアリングキャップアセンブリはドロップセット™ベアリングと一緒に必ず使用してください。**

## フレームの準備

まずはフレームにベアリングがフィットするか確かめてください。チリや破片などを取り除くためにフレーム側のベアリング穴を綺麗にしてください。ベアリングはヘッドチューブの上と下に手で軽く押して装着をしてください。もしベアリングがうまく入らない場合は、クリスキング社に相談をしてください。金属であるベアリングシートは適切なツールによってリーミングやフェーシングをしなければならない場合があります。

**注意：不適切なヘッドチューブのリーミングはフレームの破損、ライディング中のコントロール不可、大きな事故につながる可能性があります。**

## フレームに対するベアリングの装着

軽くグリースが塗られた綺麗なヘッドチューブにアッパーベアリングを簡易的に装着させます。適切なベアリングの位置については図式を参照してください。ロー

ワーベアリングも同じように繰り返します。

## フォークの準備と、ベースプレートの装着

フォークの適切な準備はヘッドセットの性能を最大限に生かします。

①クラウンシート外径（OD）が記してある上記の表を見て下さい。ベースプレートの適切なプレスフィットはインターフェースにおいて0.1mm（0.004"）以下でなければなりません。

②ベースプレート（クラウンレース）シートエリアにある削りカスやカッティングオイルを取り除いて綺麗にします。

③円錐型を上にして（『This Side Up』と書いてあります）、ベースプレートをステアチューブに装着させます。ベースプレートに対して、ベースプレート・インスタレーションアダプターの斜めになっている側面と一緒にベースプレートをセットアップするためクラウンセッティングツールを使います。

**注意：45°のベアリングシートがついたインテグレートッドクラウンレースを持ったフォークでなければ、ドロップセット™ベアリングに付属しているクリスキングのベースプレート（クラウンレース）を必ず使用してください。**

## ステアチューブの切断

怪我をしないようにステアチューブを切断する時は特に気をつけて下さい。

①ベースプレートが装着されたフォークをフレームに挿入します。

②グリップロックキャップの部品、もし必要ならばスペーサー、そして次にステアチューブにステムを装着させます。ステムとチューブの交わった上部に線を記しておきます。

③ステアチューブから部品を外し、最初に記した線の3mm下にもう一度、線を記します。その一番下の線を弓のこやソーガイドを使用して切断してください。

④ステアチューブの外側と内側にある尖ったエッジを取り除きます。装着する上でグリップロック・キャップ・オーリングを切ってしまうないように、やすりやサンドペーパーを使って、チューブの外側を丸くします。

## スターナットの装着

カーボンステアフォークを使用している場合、プレロード装置に関してはフォーク製造元の指示を参照にしてください。

①スターナットをインスタレーションツールに装着してください。

②ソフトハンマー、もしくはマレットを使い、スターナットをツールがステアチューブのトップに接触するまで中にまっすぐ入れて下さい。スターナットからツールを取り外して下さい。

### **グリップロック™の組み立て**

グリップロックは既に組み立てられた状態で発送されます。もし、組み立てられていなかった場合、ダイアグラムに示した通りに組み立てて下さい。下記の順序に従って下さい。

- ①薄いベアリングリング・オーリングをベアリングリングの外側にある溝に付けて下さい。
- ②スプリットリングをベアリングリングに付けて下さい。
- ③ベアリングリングとスプリットリングをグリップロックキャップにパチンとはめこんで下さい。
- ④キャップオーリングを組み立てられた部品によって作られた溝にはめてください。

### **グリップロック™の装着、最終組み立て、そして調整**

- ①装着している間、キャップオーリングを切断してしまわないよう、やすりやサンドペーパーを使用し、ステアチューブのカットされた外側と内側の鋭敏なエッジを取り除いて下さい。
- ②薄くグリースをキャップオーリングに付けて下さい。
- ③フォークをフレームに装着して下さい。
- ④組み立てられたグリップロックをステアチューブに取り付けます。大抵の場合、グリップロックはすんなりとステアに取り付ける事ができます。もし、キャップオーリングがステアチューブのトップ部分にて引っかかっている場合、オーリングを切断しないようにして下さい。やさしくキャップオーリングのサイドを押し、組み立てられたグリップロックを、一定の力で下に押し続け、少し回したり、揺すってみたりして下さい。

**\*もしお客様がエキスパンションプラグ付のカーボンステアチューブをお持ちの場合、ベアリングキャップを装着させるためにプラグを緩めにしておいてください。**

- ⑤注意：もし組み立てられたグリップロックが装着時にバラバラになってしまったら、『グリップロックの組み立て方』へ戻り、もう一度最初から装着をし直して下さい。
- ⑥スカフワッシャーを取り付け、そして必要なスペーサーを入れ、ステムをステア

チューブに取り付けて下さい。ステムキャップスクリューをステムキャップとスターナットに通して下さい。5mmヘックスレンチを使用して、トルクを17 in.lbs ( 1.92 Nm) ぐらいで締めて下さい。ステムキャップを締めている間、方向を交互に入れ替えてフォークを回すことでベアリングが最適な形で収まります。

⑦ステムの位置を調整し、メーカーの仕様書に従って、ステムを固定して下さい。

⑧適切にヘッドセットが装着されているか確認して下さい。正しく装着されている場合は、フォークには遊びやきつい感じが無く、スムーズに回ります。数回乗った後にちょっとしたズレなどが起こるかもしれませんが、その都度調整を行なって下さい。

新しくセットアップした物については、50～100時間の使用中になんらかの抵抗が見られるかもしれません。もしそれが、擦れ合ったり、縛り付けられている感覚である場合は、不適切な装着、もしくはステムが完全に取り付けられていない事を意味しています。

**注意：ドロップセット™に付属されているクリスキングのベアリングキャップ、並びにグリップロック™を必ず使用してください。**

## メンテナンス

クリスキングのヘッドセットは最小のメンテナンスにより最高の寿命を提供できるようにデザインされています。なので、メンテナンスしやすいようにデザインされています。時折の調整のほかに、ベアリングのクリーニングやグリーシングが必要となります。ライディングのコンディションはどのくらいヘッドセットに対して調整をしているかがキーとなってきます。濡れるようなコンディションでは6ヶ月毎に必要となり、乾いた状態では5年に一度必要となります。

## グリップロック™の取り外し

①ステムキャップ、ステム、スペーサーをステアチューブから取り外して下さい。ゴムマレットもしくは手のひらでグリップロックのロックを外して下さい。ヘッドセットベアリングがダメージを負うので上からステアチューブを叩いたりしないで下さい。

## ベアリングサービス

①フレームからベアリングを取り外してください。

**\*ヘッドセットベアリングの内側にある白いシールを取り外さないでください。密封が不完全になります。**

②注意深く、小さなスクリュードライバー、ピック、またはペンナイフを使い、スナップリングとの間にそれらの道具を差し込みスナップリングを取り外します。ベアリングセンターに近いスナップリングを、完全に溝から出るまでやさしく外しま

す。スナップリングが完全に外れるまでリングの回りを行き来します。

③ベアリングの内部に到達するために、突き出た黒いゴムシールを取り外します。

④WD-40™のような軽いスプレー潤滑油で徹底的に洗い流し、乾かして下さい。

⑤シールとスナップリングから埃やごみを拭きます。使用していたスナップリングやシールは、曲がっていたり、傷ついていたたり、壊れていなければ再装着させます。

もし壊れていれば、リプレースメントはクリスキング社から直接もしくは、クリスキング社が許可したディーラーから受け取って下さい。

**ある溶剤、合成潤滑油、高圧の添加剤が入ったグリースなどは、シールや他の非金属性の物にダメージを与えるかもしれません。影響を最小限にし、そして洗浄した後は徹底的に組み立てられたベアリングを乾かして下さい。柑橘系のペースクリーナーでは掃除をしないでください。**

⑥防水性のグリースの玉をベアリングのトップ回りに付けます。グリースがボールエリアまで届くように内側のレースを回して下さい。

⑦ゴムシールを、ベアリングレースの外側と内側の間にくるように再装着して下さい。

⑧ベアリングレースの外側の溝にスナップリングの端を装着します。スナップリングが完全にはまるまで、溝に沿って押し進めて下さい。小さな隙間が、スナップリングの両端に見えるようになっています。

⑨締め付けるために、ベアリングの内側のレースを手で回して下さい。もしベアリングがスムーズに動かない場合、1から8のステップをもう一度行なって下さい。締め付け（バインディング）はよくシールやスナップリングを誤って留めてしまう事があります。

**FIGURE 1.**

